

家族ハンザイ My Family

[シリーズ⑤ アニメのビデオをつくった平井弘雄さん一家の巻]



♥アニメのビデオは、やる気と根気だね。

我が広報広聴課に、一本のビデオが届きました。送り主は、大淵にお住まいの平井弘雄さんで、「富士市民くらしの力レンダー」に載っていた民話「大淵の猿番道」のアニメ版。

このビデオ作品は、静岡第一テレビの「ビデオフェスティバル」で特選。また三十三カ国参加の「東京ビデオフェスティバル」でもビデオケイシヨウ賞を獲得。お宅におじゃまして、ビデオづくりのお話を伺いました。

*広報広聴課でこのビデオをお貸しします。ごらんになりたい人は(内線 2823)へ

私の家族

(大淵)

♥私 平井弘雄・ひろお 50歳
♥妻 一美・かずみ 49歳



♥昨年の六月ころからつくり始めて、夏休みを利用してながら編集。三ヶ月半かかりました。随分と苦勞しましたけれど、まあ満足しています。

♥私の担当は、ナレーション。頭出しの部分で猿番道の紹介を一分間するんですが、夏、現地に四回は通いました。なかなかオーケーが出なくて。歩き方に気をとられていると、言うことを忘れちゃうんですよ。(笑)

♥アニメづくりは、今回が初めての経験。原画をかくのや、色づけが大変でした。五分間のアニメに、原画は全部で三百六十枚。一步の動作をつくるのにも、大体五枚は必要です。素人ですから、イメージはわいてくるのだけれど、その表現の仕方が難しく。やる気と根気だと思

ってやってみたんですよ。(笑)
♥土、日は、一日中部屋にこもりきりでご飯のときしか出てこないんです。

♥いたずら猿が改心して涙を流す場面があります。ビデオカメラを縛りつけて、涙を一滴ずつピンセットで動かしながら、コマ撮りをしていくんですが、流れるような感じを出すのに苦勞しました。専門家は、コンピュータで簡単にやっ

てしまうようです。

♥テレビアニメと比べたら、「なあんだ、こんなもの」なんて思われるかも。(笑)
♥次は、影絵をやってみようと思っ

♥一分間のナレーションに、現地撮影四回。

富士川河口で野鳥観察
鳥と人間のかかわりを考える

わた なべ しゅう じ
渡辺修治さん

(中央町1丁目)

野 鳥の集う富士川河口。日差しも一段と増して春を感じさせる富士川河口。カモメやカモたちが、波に揺らめきながらのんびり憩っています。

渡りの水鳥たちが集う富士川は、全国的に野鳥観察マニアに知られた場所です。ここへ、最低でも月に三回は出かけると言う渡辺さん。持ち物は、双眼鏡、凶鑑、天候や鳥の数などを記録するフィールドノート、そしてカメラ。今の季節だと、約五十種類が確認できるのだそうです。野鳥観察の楽しみ方は、人によってそれぞれですが、



「僕の場合は珍しい鳥を見たり、鳥の生態調査や環境のこと、写真撮ることでしょうか」。

鳥 たちの命、私たちのあした。鳥たちが、快適に安心して暮らせる環境がだんだん少なくなってきました。便利でぜいたくな生活をすればするだけ、環境を知らず知らず汚してしま

っている私たち。鳥たちの住める環境と命を守ることが、回り回って人間のための環境を守るのだということに、もう気づくべきではないでしょうか。野鳥観察を通して環境問題を考えるなど、今までとは違った世界が広がりました」。

野鳥は、その気になれば町中の公園でも観察できるのだそうです。ラ・ホール富士の近くにある新通町公園。ここにもスズメ、ヒヨドリ、シジュウカラと、十種類くらいは飛んできます。ふだん見過ごしている野鳥を、ちょっと観察してみませんか。

